

**八潮市庁舎建設基本計画策定審議会委員委嘱書交付式
及び第 1 回八潮市庁舎建設基本計画策定審議会 議事録**

開催日時	平成 30 年 7 月 5 日（木） 午後 3 時から午後 5 時まで	開催場所	市役所本庁舎 3 階 第 2 応接室
出席者 〔敬称略〕	（1 号委員）石井保、大森眞理子、佐藤真貴、前田由美子 （2 号委員）齋藤友之、作山康、山田あすか （3 号委員）内田亜希子、金内美智留、齋藤勝、高橋秀夫、昼間竹雄、 古庄正登、三ヶ島幸生		
欠席者 〔敬称略〕	（3 号委員）廣瀬健一	傍聴者数	2 人
審議内容 及び審議 結果の概要	【八潮市庁舎建設基本計画策定審議会委員委嘱書交付式】 1 開式 2 委嘱書交付 3 市長あいさつ 4 閉式 【第 1 回八潮市庁舎建設基本計画策定審議会】 1 開会 2 委員紹介 3 事務局職員紹介 4 会長・副会長選出（選出後、あいさつ） ※会長に作山康委員を選出 ※副会長に古庄正登委員を選出 5 諮 問 ※市長から会長へ諮問 6 会議の公開に関して ※公開としていくことで承認 ※議事録については、要約、委員の個人名は掲載しないことで承認 また、委員全員で確認し、会長が了承後公開することで承認 7 議 事 今年度の取組概要 審議会設置の背景及び目的等について ※事務局説明 （1）基本構想の内容確認について （2）審議会開催スケジュールについて （3）報告事項 ・複合・集約化方針（素案）について ※（1）～（3）事務局説明。 （3）については、保健センターの集約化及び面積に関して報告。集約化の方法については、一部見直した方がいい旨の意見をいただいた。		

	8 その他 9 閉 会
提供資料	・ 次第 ・ 席次 ・ 第1回八潮市庁舎建設基本計画策定審議会説明資料 ・ 八潮市庁舎建設基本構想 ・ 八潮市庁舎建設基本構想（概要版） ・ 八潮市新庁舎複合・集約化方針（素案） 【ファイル】 ・ No.1：委員名簿 ・ No.2：八潮市庁舎建設基本計画策定審議会規則 ・ No.3：八潮市附属機関の会議の公開に関する規則 ・ No.4：八潮市庁舎建設基本計画策定審議会傍聴要領 ・ No.5：市庁舎耐震化調査業務報告書（概要版） ・ No.6：八潮市庁舎耐震化方針

【議事詳細】

八潮市庁舎建設基本計画策定審議会委員委嘱書交付式

- 1 開式
- 2 委嘱書交付
- 3 市長あいさつ

市長	本市では庁舎の耐震性を確保するため、平成 28 年度に庁舎耐震化方針により、建替えによって耐震化を図ることを決定し、昨年度に基本構想を策定した。 今年度の基本計画の策定にあたっては、本市のアセットマネジメントの考え方に基づき、もともと費用対効果の高い、安全・安心で効率的な管理を推進していく。本市では安全・安心を基本の柱に据え、市民との共生・協働の理念に基づき、「住みやすさナンバー1のまち 八潮」を目指してまちづくりを行っている。庁舎はその拠点となる。 来年度の基本設計につながるよう、さまざまな視点からのご意見を賜りたい。
----	--

- 4 閉式

第1回八潮市庁舎建設基本計画策定審議会

- 1 開会
- 2 委員紹介
- 3 事務局職員紹介
- 4 会長・副会長選出（選出後、あいさつ）

※規則第4条第2項に基づき、市長の指名により、会長に作山康委員を選出

会長	芝浦工業大学で教えているが、キャンパスは大宮であり、東大宮駅にある。 自身は戸田市に住んでおり、自分の住むまちのマスタープラン策定にも携わっている。普通のまちだが、そこをどう魅力的にしていけるかという課題がある。戸田市ではPTA会長も経
----	--

	験し、自分のまちに誇りを持てるようなまちづくりを目指している。 出身は茨城県の日立市であり、故郷への恩返しとして、日立では駅周辺整備で海に見える自由通路を計画した。そこに公設民営のカフェをつくったが、大繁盛している。妹島和世氏が設計した。 日立市庁舎の設計者選定等の副委員長も務め、設計者選定プロポーザルで偶然駅周辺整備と同じ妹島和世氏が当選したが、同郷である。自分の故郷をよくしたいという思いがある。秋には新しい市庁舎が完成する。誇りとなるような公共施設をつくることを市民も求めている。同じ建設費でも工夫があるかどうかによって大きく変わる。 子育てなどの経験から、ユニバーサルデザインも重視したい。また、これからは女性の活躍をいっそう推進するため、トイレの整備などで働きやすい環境にすることも重要である。 是非、さまざまなご意見をいただきたい。
--	--

※規則第4条第2項に基づき、会長の指名により、副会長に古庄正登委員を選出

副会長	庁舎建設は、市民にとっても大きな期待感がある。スムーズに進行できるよう努めたい。ご協力をお願いしたい。
-----	---

5 諮 問

※市長から会長へ諮問

6 会議の公開に関して

※公開としていくことで承認

※議事録については、要約、委員の個人名は掲載しないことで承認

また、委員全員で確認し、会長が了承後公開することで承認

7 議 事

今年度の取組概要 審議会設置の背景及び目的等について

事務局	資料に基づき説明
委員	(質問等なし)

(1) 基本構想の内容確認について

事務局	資料に基づき説明
委員	(質問等なし)

(2) 審議会開催スケジュールについて

事務局	資料に基づき説明
委員	(質問等なし)

(3) 報告事項 複合・集約化方針(素案)について

事務局	資料に基づき説明
議長	非常に重要な課題である。八潮メセナは複合・集約化せず、保健センターを複合・集約化するという方針である。
委員	説明はよく理解できたが、現在の庁舎は議会棟が別棟になっている。今回は議会棟も含め

		て1棟となるのか。高さ制限 25mの敷地条件で、1棟で計画できるのかという懸念がある。1棟の方が望ましいと思われるが、検討をお願いしたい。
	事務局	議会棟も含め庁舎と考えている。高さについては、制限内で納まるように検討していく。
	委員	保健センターが庁舎の中に入ると、休日診療所の入口は庁舎と一緒にするのか。それとも別に設置するか。
	事務局	今後の検討になるが、入口は分ける必要があると考えている。管理区分等も考えながら基本計画の中で定める。
	委員	市民が利用する点では利便性が高いのは分かるが、市の事務として保健センターを一体化することの必要性はあるのか。保健センターは市役所の利用者とは異なる。そのような想定はされていないのか。駐車場の配置も含めた構成の検討が必要であるとする。細かい検討をお願いしたい。
	事務局	利便性の向上という観点だけではなく、保健センターでは乳幼児から高齢者に至るまでを対象として事業が展開されており、より連携を図ることを想定している。来庁者が異なる点については、駐車場の台数、エリアの区分等を考え、共存できるような計画を検討していく。 保健センターに詳しい医師会の先生も委員として入るため、専門的な見地からのご助言をいただきながら検討したい。
	議長	複合化する結論はいいと思うが、合築まで結論づけなくてもいいのではないかと。交付金等が関係しているのか。
	事務局	交付金等は関係していない。
	議長	建築計画については、使い方等の検討を行ったうえで行うべきである。施設の形態までは現時点では不要ではないか。
	委員	複合化の方針はいいと思う。施設計画は、きちんとした検討を経て決めるべきである。現在の資料は踏み込みすぎであるとする。
	委員	ある程度独立していた方が時間帯・利用者層も違うので使いやすいのではないかと。近くに建てるのであれば室内で行き来できる、繋がれば繋げるくらいの感覚でもいいのではないかと。
	委員	P. 12 の図については、参考にこういった検討がされた程度でよいと思う。まだ基本計画があるので、合築かどうかは設計会社が考えればよいのでは。
	議長	設計の前提条件としては、集約化するで、形態までは書かなくてよろしいのではないかと。合築を否定するわけではない。
	委員	合築してもいいかどうかは、メリットがあり、デメリットが解消されることが分かる段階で考えてもいいのでは。 保健センターは小さいので鉄骨造でも可能で、ハイスペックな建物につけることで全体のコストが高くなる場合もある。両パターンの可能性を残しておく方がいいのではないかと。
	委員	事務局の資料は、事務分掌上のことも考えた検討ではないかと。保健センターの複合・集約化は事務組織も含めた検討が必要である。
	事務局	公共施設マネジメントアクションプランの検討において、保健センターでは、乳幼児から

		高齢者までを対象として事業を取り扱っており、介護保険の介護予防事業や児童虐待などの関係も取り扱っているので関係部署との連携があり、横断的な支援が必要であることがきっかけとなった。そのため、近く、できれば隣合せがいいのではとの考えがある。離れている現在の状況では連続的・包括的な支援ができないといったこともあり、集約化していこうと検討がスタートした。集約化した方が適切な支援・サービスが提供できると考え、この方針案を示させていただいた。
議長		別棟として渡り廊下等で接続する計画も、集約化のひとつであると考える。
委員		保健センター事業が、今後膨張するのか、減るのか、流動的な中で、本当に合築とする意味があるのか、検討の余地があるのではないかと。 また、30年後を考えると次はメセナの老朽化が考えられる。メセナの将来計画も含めて検討すべきと考える。
議長		プライバシーの問題もあり、距離を離すことが重要な場合もある。木材の活用や木造など、内装の仕上げ等で心の問題に配慮することもできる。例えば桶川市庁舎は、主構造は鉄筋コンクリート造だが木造との混構造としている。桶川宿の歴史を継承し、ほっとする木の空間を実現するため、その他の部分でコストダウンを図っている。設計で検討できる課題も多いため、最初から条件を絞りすぎない方がよい。
委員		実際に保健センターを利用されている方へのアンケートを実施してはどうか。
	事務局	保健センター利用者に対し、集約化についてのアンケートは実施していないが、基本構想時のアンケートでは望む声が多かった。その他、6月に市民説明会を4回実施したが、合築することについて否定的な意見はいただいている。合築のパターンは、駐車スペース等を考慮して合築化する方がいいと考え、この方針案を示した。
議長		結論の「集約化の方法は庁舎建替えの機会をとらえ、新庁舎に一体化（合築）する。なお、一体化（合築）する」という文言を削除することはいかがか。
委員		（異議なし）
委員		大前提の話になるが、集約化の検討対象の施設がメセナと保健センターのふたつになっている。このふたつになった経緯はどのようなものか。他にも候補があるのか。
	事務局	アクションプランで取組の内容を定めた。保健センターは旧耐震の施設で、老朽化が進行していることもあり、候補になった。メセナは内部機能の老朽化が進んでいること、大きな維持管理費がかかっていることから候補になった。他の施設は候補としては出ていない。
議長		他の施設は比較的新しい等の理由で対象とならなかった経緯がある。最終的にメセナと保健センターが残った。保健センターは耐震診断を実施していないが、旧耐震の施設であり、耐震性はおそらく低いと考えられる。
委員		「八潮市新庁舎複合・集約化方針（素案）」の資料について、集約化・複合化のそれぞれの言葉の定義が分かりにくい。定義を明確にしていきたい。
委員		合築の是非は今後の検討だと思われるが、保健センターの具体的な役割の概要が分かる資料を今後準備し、委員全員で共通認識が持てるようにしてほしい。
議長		八潮市における保健センター、例えば託児所の可能性や、休日だけでなく平日も行えば病児保育もできるなど、将来的な予想も含めて考える必要がある。他市の事例等を勉強して

	どこまで基本計画の中で検討を行うか、検討したい。
委員	保健センターを先日利用したが、検診車スペースと、ある程度の利用者駐車場が必要であると感じた。現状が分かる資料を準備いただきたい。
委員	市としてどの程度先進的な取組を行おうとしているのか。単純に現在の事業が実施できればいいのか。今後を考えると、例えば母子健康保健など連携した事業をどんどん実施していこうということであれば、合築型も考えられる。センターというのは名称だけで実際は他の機能と融合してやっていくという考えなのか、そうではないのかについても判断材料になるように思う。
事務局	単に施設の建替えとは考えていない。関連部署と連携を図り、いかに行政機能を発揮していくかということで考えている。できれば合築し、うまく行政機能を発揮していきたいと考えている。
委員	そのような意向であれば、機能連携の点もきちんと記載した方がよい。
委員	メセナの駐車場の問題や公園の借景などについても考慮しなければいけない。
議長	公園の将来計画も見据えて一体的に検討していくことが必要である。今回の事業では直接行わないが、将来公園をこうしてほしいなど、議論していきたい。

8 その他

事務局	次回の審議会については、スケジュールの都合上、事務局で設定した。8月20日（月）の13時30分からとなる。正式には後日文書にて通知させていただきたい。
-----	---

9 閉会

(以上)